

ひまわり通信 27ねん9がつ

園長先生のお話

二学期が始まり、楽しい運動会に向かって練習が始まっています。運動会は子どもたちの心の成長だけでなく、たくましくなった身体能力の発見の機会にもなります。子どもたちの気分はまだ今一つ盛り上がっていない感じですが、本番までにはまだ少し時間があります。日が近くなってくれば緊張感を持って頑張ってくれと信じています。保育参観の時にも申しあげましたが、「どれだけ沢山の良い仕事をしたかではなく、どれだけ心をこめたか」が大切です。このマザーテレサの言葉を信じて子どもたちの一生懸命な姿に目を留めよく見てあげましょう。失敗があっても、それは子どもたちにとっては次の成長への小さな一歩です。出来なかったから駄目ではなく、それを糧にして頑張れる心の強い子どもになれるよう共に支援していきましょう。

園長 頭島 光



～科学館に行きました！～

園外保育で科学館へ出掛けることを楽しみにしていたA組さん。まずは、科学劇場でマジックショーを見ました。コーラに不思議な水を入れるとジュースに変わり、2つのビー玉が、水を入れるとたくさんになったり等…不思議なマジックが次々に繰り広げられ、子どもたちは圧倒されていました。この後「宇宙の科学」コーナーを見学、太陽系のパズルを見ながら、前日の横割り活動で耳にしたばかりの惑星の名称を得意気に口にする子どもたちです。「地球の科学」コーナーでは、園長先生、増田先生、長野先生と一緒に強風体験を楽しんだり、また、一人で静かにパソコンに向かう子どももいました。お弁当を食べた後は自由行動です。各自で興味のあるコーナーを回っていましたが、サイエンスラボのコーナーでは、遊具に触れてお友だちと楽しむ様子が見られました。遊具に触れるとき、私たちは遊び方を理解してから始めますが、子どもたちは違います。無造作に触れて動き出すと喜び、たとえ的を得ていなくても楽しめるという自由な感受性をもっています。その中に、私たちが踏み込むことができない想像力の広がりを感じ、改めて一人一人の無限の可能性に気付かされた一日でした。

Aの部屋 藤田



～気づき・思いやり・意欲～

ミカエル組でお弁当を食べた時のことです。少し遅れて来た私に、「先生のお弁当見せて！」と一人の女の子が声を掛けてきました。「かおる先生ドーナツ」「小山田先生くまさん」「先生は？」どうやらお弁当箱の形のことを言っているみたいです。私の四角いお弁当箱を見て、しばらく…突然何かに気づき「先生お花のお弁当かわいいね！」その声を聞いた子どもたちが、「見せて！」「見せて！」と次々にお弁当箱の蓋に描いてあるお花の絵を見に来ました。ミカエル組の子どもたちは、一口食べるたびに「おいしいね！」と言って食べます。きっと家でお母様が、「おいしいね！」と声を掛けて食事を促しているのでしょう。しばらく食べていると、お弁当が進まない子に気づき「〇〇ちゃん、ご飯残ってるよ！ママが悲しむよ」「がんばって！」と励ましたり、スプーンを持って食べさせようとしています。2歳・3歳の子どもたちもお友だちの様子にすぐ気づき、声をかけたり、先生に教えたり、思いやりの心がちゃんと育って来ています。美味しいお弁当を食べたら、テーブルや床に溢した食べ物を拾い、ティッシュに包みゴミ箱に捨てます。それから、お弁当箱、おはしセット、ランチョンマットを片付けて「かみさま、おいしいお弁当をありがとうございます。食べ物のないお友だちをお守りください。ごちそうさまでした」とお祈りして、お弁当セットを自分のロッカーに片付け歯磨きをします。大人がその都度声を掛けなくてもきちんと順番を守って、意欲的に生活している子どもたち。子どもが大人に求めている手伝いは「自分ひとりで出来るようになる」ことへの配慮です。子どもの代わりにしてあげるのではなく、子どもが自分で出来るように援助することです。自分でやり遂げた達成感に満ちた笑顔こそが、次への意欲に繋がっていくと思います。

主任 福留



……～バスの先生方を紹介します～……

坂之上・谷山方面【すずらん号】

中山・皇徳寺方面【ひまわり号】

宇宿方面【しらゆり号】



すずらん号の森です。6月末からバスに乗っています。子どもたちの笑顔からパワーを頂き安全運転に徹していきます。
バスの先生：森先生
添乗の先生：<午前>内村先生
<午後>米森先生

ひまわり号の長野です。毎日楽しくバスに乗っています。今後も安全運転に心掛けて運転していきたいと思っています。また、到着時間が前後することがありますがご理解下さい。宜しくお願い致します。
バスの先生：長野先生
添乗の先生：<午前>西先生・寺園先生
<午後>江口先生

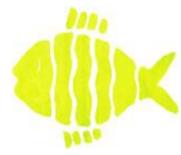
しらゆり号の運転手の増田です。バスの出発を待つ時間の子ども達との時間も楽しく過ごしています。日々安全に子ども達を送り迎え出来ればと思います。
バスの先生：増田先生
添乗の先生：<午前>睦地先生
<午後>藤田先生・福留先生

～ミカエル組～



2学期になり、お友だちが増え19名でスタートしました。一緒に過ごすお友だちの名前を覚えるのも一苦労ですが、リズム遊びや指遊びを通して、新しいお友だちの存在に気付いていきます。なかでも、「〇〇ちゃん」と呼ばれて、「はあい」と返事をしてぬいぐるみをもらい、そのぬいぐるみを隣のお友だちの名前「△△ちゃん」と呼びながら渡していく遊びは、定期的に行なっています。繰り返しの中で自信を持って返事が出来るようになったり、新しいお友だちを気遣う気持ちが生まれたり、集団の中で過ごす喜びを感じるようになっていきます。しかし、様々なことを自分でやりたがるようになる時期ですので、「自分のやりたいこと」を主張するあまりお友だちと衝突したり、ルールにそぐわなかったりする場面も見られます。そのような時、我慢したり、受け入れられるような気持ちづくりのお手伝いをする為、ミカエル組では保育者3～4名で関わりをもち、一人一人が安心して過ごせるような環境を整えています。

ミカエル組 堂園



★モンテッソーリ教具って何？★ Vol.12

構成三角形

【正三角形の箱】



三角形の木箱の中に、色付きの様々な三角の板が入っています。全て箱から出したら、まずは三角形の形をいろいろ組み合わせさせて楽しみます。黒い線と黒い線を合わせると大きな三角形になります。構成三角形は5箱あり、それぞれ組み合わせることにより、平行四辺形や正方形になります。全ての多角形は三角形でできていることを自然に理解でき、形を分解・構成する面白さも楽しめます。後に、算数教育での幾何学に結びついていきます。



Aぐみ・Aさん→年長児
Bぐみ・Bさん→年中児
Cぐみ・Cさん→年少児
Dぐみ・Dさん→満3歳児



学校法人カトリック学園 ひまわり幼稚園
〒891-0113 鹿児島市東谷山3丁目31-13 TEL:099-268-2340 FAX:268-2333